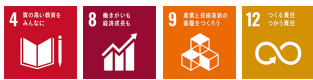


科目ナンバリング：DDE-3-321-02

**■授業の目的及び到達目標**

工学部の学生を対象にした教職科目で、工業高校における専門科目指導、生徒指導を通じて、社会変化に伴う求められる能力をあきらかにしながら、生徒の職業選択を含む職業に対する意識をどのように育てていくかを考察し、高校3年間の職業教育の職業指導立案ができるようになることを目的とする。工業系教諭として、教育現場での実践力を身につけることを到達目標とする。

■授業計画

- 1 日本社会の変化と職業1
社会で求められる人材の変化と中等教育の変遷について
- 2 日本社会の変化と職業2
社会で求められる人材と中等教育について
- 3 キャリア教育
キャリア教育・キャリア発達など
- 4 キャリア教育
高校（工業高校）での進路指導について
- 5 学校におけるキャリア開発と支援1
工業高校でのクラス担任や進路指導部・主任の仕事など
- 6 学校におけるキャリア開発と支援2
進路指導と保護者との関わり及びインターンシップやデュアルシステムなど
- 7 進路指導
工業高校における就職や専門学校等への進路指導
- 8 進学指導
工業高校における進学指導
- 9 雇用に関する権利と義務1
高校（工業高校）での就職指導関係
- 10 雇用に関する権利と義務2
高校及び大学での就職指導関係について
- 11 世界のキャリア開発1
- 12 世界のキャリア開発2
- 13 職業指導のまとめ
12回の講義のまとめと課題

■授業の方法

オンデマンド授業による展開。授業前に Bb に Up した資料をよく読み、参考書等を活用しながら理解度を深める。毎回、Bb にその日の課題を添付するので資料を確認しながら課題を作成する。質問等は Bb またはメールにて送付する。

■予習・復習

Bb に添付された資料を読み、毎回課題を作成する。資料は課題試験及び、授業課題の作成等に活用するため必ずファイルをし、常に確認できるように準備する。

■成績評価の方法（成績の評定方法、授業態度、レポート等の扱い）

授業内試験（60％）、授業内課題の提出状況（40％）

■教科書・参考書

教科書は利用しないが、参考書として「新時代のキャリア教育と職業指導」（法律文化社）を活用する。また、授業ごとに資料を添付する。

■関連する科目

職業指導Ⅰ、工業科教育法